



長崎っ子の心を見つめる教育週間

6月30日(月)から7月6日(日)の1週間を長崎っ子の心を見つめる教育週間として、この期間の月曜日から金曜日までの期間、学校の教育活動を公開しました。多くの保護者の皆様や地域の皆様に御来校いただきました。ありがとうございました。

<6月30日(月) 全校集会(校長講話)> 講話では、次のような話をしました。

「いのち」は、両親から与えられた時間。残り何時間あるのかは誰にもわかりません。

この限りある「いのち」をどう使うのかを決めるのが「こころ」。

「いのち」を輝かせるのが「こころ」です。

「いのち」は増やすことはできませんが、「こころ」は無限に豊かにできるのです。「いのち」をどう輝かせるかは、自分の「こころ」次第。

あなたは、自分の「いのち」をどう輝かせますか？



<7月3日(木) 被爆体験講話>

末永浩さんにお話をいただきました。末永さんはアメリカや中国などをはじめ、世界中の人々に自身の体験を語り、平和を訴えておられます。「自分のいのちは大切。自分のいのちが大切ならば他人のいのちも大切。」熱が込められた末永さんの言葉によって、被爆地長崎の市民として何をすべきか、改めて考えることができました。



<7月4日(金) SNS講話>

長崎工業高等学校の生徒の皆さんを講師として招き、SNSに関する講話を実施しました。長崎工業高等学校は、長崎県警に協力をして、サイバーセキュリティボランティア活動に取り組んでいます。SNSによるトラブルがどのように起こるのか、また、どのようにSNSと向き合うのかなどの内容で、中学生と年齢がさほど変わらない高校生の話は、分かりやすく引き付けられるものでした。高校生の皆さんの立派な所作は、中学生の目に身近な目標として映ったと思います。



花壇づくり・校外清掃(1年生)

6月27日(金)地域のシニアクラブ矢上台緑風会の皆さんに教えていただきながら、学校周辺の花壇に花を植えました。また、学校周辺の清掃活動も行いました。協力いただいた地域、保護者の皆様、ありがとうございました。今、1年生の整備美化部の皆さんは毎朝、花壇の水やりを頑張っています。

いつまでも美しい花が咲き続けますように。

